

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	教育委員会一般管理事業				事業コード	620501						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	1 地域総ぐるみの教育の場づくりの推進			施策コード	411						
事業担当	所属	60010000 教育委員会 教育総務課			所属長	垣谷 敏数						
会計情報	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	01 事務局費		会計	01 一般会計	決算付属資料	210・212	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	教育委員会や教育総務課の運営及び市立小中学校や各教育機関等との連携を行い本市教育の充実を図る。											
対象者	市立幼稚園・学校 園児・児童・生徒・教職員				対象者数	6,801		単位あたりコスト	3.7			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	神戸総合速記株式会社、野口建設											
事業概要 (箇条書き)	・教育委員会や教育総務課の運営及び各教育機関等との連携事務 ・外部評価委員により、教育委員会で実施した事業の点検・評価を行い、教育行政の推進に取り組む ・教育委員研修等に積極的に参加し、今日的な課題についての調査・研究を行う ・他市教育委員会(教育長・教育委員)間の交流により情報交換などを行い教育の振興、教育環境の充実を図る											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	報酬	4,128	教育委員報酬									
	需用費	1,272	燃料費、消耗品の購入など									
	使用料及び賃借料	1,854	複写機使用料、公用車リース料など									
	負担金補助及び交付金	264	年会費等負担金									
	役務費ほか	1,586	電話代、教育委員会会議録作成業務、除草・剪定業務ほか									

III 予算執行状況

区分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	9,791		9,642		11,327		13,832	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
		前年度繰越	0		0		0		0
	次年度繰越	0		0		0		0	
小計(①~③)		9,791		9,642		11,327		13,832	
予算財源内訳	① 一般財源	9,791		9,642		11,327		13,832	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		0		0		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	0		0		0		0	
決算情報	① 流充用額	0		0					
	② 配当予算	9,791		9,642					
	③ 執行額	8,907		9,104					
	④ 執行率	91.0%		94.4%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	2.01 / 0.10	2.02 / 0.00	2.02 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	16,330		16,160		16,160		0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		25,237		25,264		16,160		0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	教育委員会 議案審議数	件	38 / 40	40 / 40	36 / 40	/ 40	40
	単位あたりコスト		169.1	222.7	252.9		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	本市の教育目標「自分のために 人のために 社会のために 共に幸せを生きる人材の育成」の実現、教育環境の充実を図るため、月1回程度の教育委員会会議を開催し、規則の制定や改廃、当面する教育行政の課題について、活発な議論を行い、適切な判断をし、議決事項の審議を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	教育行政の充実を図るため、教育委員会の実施事業において、点検評価委員による事務の管理、執行状況の点検及び評価を実施し、その内容について公表を行った。 また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策やICT環境の整備など、教育環境が大きく変化する中、様々な課題の解決に向けた取組の推進に努めた。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	よりよい教育環境を最優先に考え、本市教育目標の実現のため、他市教育委員会(教育長・教育委員)間の交流、情報交換、研修会に参加するなどし、教育行政の課題について理解を深めた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>【定性的評価】 教育委員会会議においては、活発な意見交換や議案等の審議を行い、地域の実情に応じた教育の振興を図ることができた。他市教育委員会等との交流、情報交換などを積極的に行い、さらなる教育行政の推進に努める。教育委員会の活動について広く的確に広報する必要がある。</p>		
改善策	市民に開かれた教育委員会となるよう、教育委員会会議の議事録公表や教育委員会で行う事業の活動内容について、速やかにホームページにおいて、積極的に広報していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	教育委員会のホームページを充実させ、教育委員会の事業や活動内容について積極的に広報していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	社会人コーチ派遣事業				事業コード	620171						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	1 地域総ぐるみの教育の場づくりの推進			施策コード	411						
事業担当	所属	60020000 教育委員会 学校教育課			所属長	八瀬 正雄						
会計情報	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 教育振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	214	頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	【部活動外部指導者】 中学校部活動と地域社会との連携を促進し、部活動の競技力や技術力の向上を図る。 【部活動指導員】 大会等引率のできる顧問の教員と同等の人材を配置することで、顧問の教員の指導時間・負担の軽減を図る。											
対象者	生徒	対象者数	1,947		単位あたりコスト	1.7						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	中学生の部活動のコーチとして社会人コーチを派遣する。 【部活動外部指導者】 学校教育や生徒の心身の発育・発達等に応じた部活動の指導ができるよう学校との連携を図り、顧問と協力して部活動が展開されるように主に実技指導を補充するための派遣を行った。 【部活動指導員】 週3日2時間程度活動し、大会等引率のできる顧問の教員と同等の人材を雇用し、通年的な指導を行い、顧問の教員の負担軽減を図った。											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	報酬	413	部活動指導員報酬									
	職員手当等	25	部活動指導員期末手当									
	報償費	418	市部活動外部指導者報償費									
	役務費	31	部活動指導員・市部活動外部指導者保険料									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,181	1,181	1,647	5,466				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0			
		次年度繰越	0	0	0	0			
	小計(①～③)	1,181	1,181	1,647	5,466				
予算財源内訳	① 一般財源	957	791	1,050	1,822				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	224	390	597	3,644				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	1,181	1,181						
	③ 執行額	984	886						
	④ 執行率	83.3%	75.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.24 / 0.00	0.30 / 0.00	0.30 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,920	2,400	2,400	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,904	3,286	2,400	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	部活動指導員配置促進事業補助金	種類	教育費府補助金	実績金額	275	決算付属資料	30	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	部活動指導者・指導員雇用	人	13 / 19	15 / 19	18 / 19	/ 19	19
	単位あたりコスト		68.9	65.6	49.2		
	指導回数(部活指導者)	回	244 / 288	269 / 288	232 / 288	/ 360	360
	単位あたりコスト		3.6	3.6	3.8		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	【部活動外部指導者】 中学校部活動に対して、地域人材(社会人)を派遣し、効果的・専門的な指導を行い、生徒の競技力・技術力の向上を目指すために寄与し、全校に派遣する事ができた。 【部活動指導員】 教職員の働き方改革を行うため、顧問の教員の部活動指導に係る時間の軽減に寄与し、1校に配置することができた。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	【部活動外部指導者】 顧問の教員の専門的な指導が不足する場合に、専門的な指導の出来る人材を派遣し、効率よく生徒に指導が行え、中学校に合計17名の派遣ができた。 【部活動指導員】 部活動指導員を配置することにより、単独での指導や大会引率ができるため、顧問の教員の部活動指導に係る時間が軽減され効率的であり、1中学校に1名配置できた。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	【部活動外部指導者】 専門的な指導ができる地域人材(社会人)を派遣することで、中学校部活動の育成や競技力・技術力の向上に有効であり、府・近畿大会に出場する等の実績がでている。また、団体行動での大切な事、礼儀等においても部活動を通じて学ぶ事ができている。 【部活動指導員】 顧問の教員の部活動指導時間の負担軽減ができ、顧問は休日勤務を要しなかった。働き方改革の観点から有効である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	【定性的評価】 【部活動外部指導者】中学校部活動に対して、地域人材(社会人)を派遣し、学校や顧問の教員と連携をとりながら指導者が主に実技指導を補完することで、生徒の競技力の向上に寄与することができた。各学校からの成果報告書により、「近畿大会出場等の大会記録がでている。丁寧に指導していただいているので、生徒の技術・意欲の向上につながっている。技術面だけでなく、生徒に寄り添いながら、メンタル面でも支えとなり、生徒や保護者との信頼関係もできている。」という評価が確認できた。令和元年度から文化部活動も対象としている。(H28は文武向上プラン学校支援事業にて実施) 令和4年度で府の外部指導者事業が終了するため、市の部活動外部指導者を増やす必要がある。 【部活動指導員】令和3年度に配置された六人部中学校では、部活動指導員による継続的な指導により、顧問の教員が他の業務を行うことができた。休日の練習試合も部活動指導員のみで引率を行うことで、顧問は休日勤務を必要としなかった。また、継続して指導を行うことで運営や生徒指導の面でも顧問の教員の負担軽減が図れた。 生徒に対しての専門的技術指導により、一つ一つのプレーに意味を持たせ、考えながらプレーをさせることにより意欲が上がり、技術力が向上した。また、プレーの振り返りから自分の課題に向き合う精神的な部分も強化された。今後も働き方改革の観点から、継続実施が必要であるが、勤務形態等学校現場の状況を理解された人材確保が課題である。		
改善策	【部活動外部指導者】 専門的な指導のできる人材を派遣し、効率よく生徒の能力向上につなげるため、継続的な実施が必要である。また、府の外部指導者事業が令和4年度で終了することからも予算措置をし、充実を図る。 【部活動指導員】 働き方改革の観点から、顧問の教員の部活動指導時間の負担軽減が図れるため、予算措置をし充実を図る。また、福知山市立中学校部活動の在り方検討会議において、今後の人材確保等についても検討していく。 スポーツ庁の提言による運動部活動の地域移行等についても関係各機関と連携し、移行を進めていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・令和5年度から府の京都市「部活動サポート」事業(外部指導者)が終了する事から、市の中学校部活動指導者派遣事業を拡充する。 ・教員の働き方改革の観点から、部活動指導員を1人から3人に増員する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	はばたけ世界へ 中学生短期留学準備事業				事業コード	610108					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実					
	施策名	1 地域総ぐるみの教育の場づくりの推進			施策コード	411					
事業担当	所属	60030000 教育委員会 生涯学習課			所属長	浅田 久子					
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	226	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	次代を担う中学生に、広い視野と国際感覚を持ち、新たな価値観や多様性を受け入れ、グローバルな国際社会で未来を切り開くために役立つ短期留学を支援し、国際交流を通じて自らの成長と新たな次のステップに挑戦する契機とする。また、将来的に地域経営のアイデアを有したグローバル人材の育成へとつなげる。										
対象者	福知山市内在住かつ福知山市内中学校に在学している2年生	対象者数	690	単位あたりコスト	5.3						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	ANAあきんど(株)京都支店										
事業概要 (箇条書き)	令和4年度以降の海外留学実施のための準備を行う。 ・留学プログラム仕様を関係課及び業務委託先と共に調整・検討、確定させる。 ・オンライン現地視察を1回実施(留学先候補:カナダ・バンクーバー現地担当者との質疑応答、プログラム実施動画視聴等) ・令和4年度留學生徒の募集準備(募集リーフレット作成、学校説明等) ・福知山公立大学との連携(令和3年12月10日 国際センター長 渋谷教授による大江学園講演会実施)										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	報償費	15	講演会講師謝礼								
	旅費	9	職員旅費(留学プログラム打合せ)								
	需用費	64	生徒募集リーフレット作成、消耗品費(フラットファイル、PPC用紙他)								
	委託料	363	海外留学準備事業業務委託								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	1,251	5,908	16,127				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	0	1,251	5,908	16,127					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	1,251	5,908	16,127				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	0	1,251						
	③ 執行額	0	451						
	④ 執行率	0.0%	36.1%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.40 / 0.00	0.40 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	0	3,200	3,200	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	3,651	3,200	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	はばたけ世界へ 中学生短期留学準備事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	450	決算付属資料	40	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
		海外留学応募生徒数	人	/	/	0 / 10	/ 15
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	海外留学年間実施回数	回	/	/	0 / 0	/ 1	1
	単位あたりコスト						
	事業説明会等事業啓発活動	回	/	/	0 / 2	/ 3	3
単位あたりコスト							

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> グローバル化が進む現代において、次代を担う中学生の短期留学を支援することにより、将来的なグローバル人材の育成に繋げる。 留学実施の際には、生徒募集から選考、留学の引率までを教育委員会で担う。 令和3年度は、中学生が留学するに相応しい都市・学校を検討し、安心・安全かつ効果的なプログラムの企画・準備を進めた。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学習意欲を尊重し、経済的理由で参加を断念することがないよう、生徒の留学費用は公費負担とする。 令和3年12月から令和4年3月まで留学プログラム企画業務を外部委託し、留学先や学習内容をより具体的に検討していった。 新型コロナウイルス感染拡大による世界的な出入国規制により、令和3年度に予定していた現地視察は、オンライン視察に切り替え実施した。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 福知山公立大学との連携等、福知山ならではの留学事業を実現し、将来的な地域経営のアイデアを有したグローバル人材の育成に繋げる。令和3年12月に大江学園にて、福知山公立大学国際センター長による国際理解に関する講演会を開催した。 令和3年度から「地域活性化のための連携協定」をもとにANAグループより着任された地域戦略マネージャーとともに、福知山オリジナルの留学プログラムの検討を進めてきた。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染状況を鑑み、令和3年度は海外留学を実施せず、留学プログラムの企画・調整、現地視察を実施し、令和4年度海外留学実施のための準備を進めてきた。 世界的な感染拡大による出入国規制のため、令和3年度に実施予定であった現地視察は、オンライン視察に切り替えて実施した。オンライン視察においては、現地の担当者との質疑応答や過去の実施プログラムの確認により、オンライン視察としては内容は良好であったが、留学先都市・学校・周辺環境については、担当者が現地で直接確認する必要があるという判断に至り、令和5年度海外留学実施に向けて、令和4年度に現地視察を改めて実施する計画とした。 海外留学の準備を進めてきたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染状況を鑑み、出発を先送りするのではなく、国内(長崎)での留学を実施し、留学先でしか体験できない「本物」に触れる充実したプログラムとする。(最終的には15名の募集に対して、30名弱の生徒から応募申込があった。) 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 世界的に新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、出入国規制の注視が必要であり、状況に応じた対応策の検討が必要である。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和5年度は、中学2年生を対象とした海外短期留学を実施する方針で準備を進めていく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	成人式事業			事業コード	610301						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実					
	施策名	1 地域総ぐるみの教育の場づくりの推進			施策コード	411					
事業担当	所属	60030000 教育委員会 生涯学習課			所属長	浅田 久子					
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	228	頁
計画期間	開始年度	昭和26年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	青年が次代を担う者としての自覚を高め、社会の一員としての意識を養い、自己の確立に努めることを基本方針とし、その方針を具現化するために成人の日の前日に式典を挙行し、参集した新成人を祝い、激励する。次代を担う新成人を保護者、地域が認め、受入れ、大人の仲間として受け入れる。										
対象者	式典を実施する年度中に20歳に達する人・保護者・地域住民	対象者数	800	単位あたりコスト	10.0						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	(株)フォールズ(警備)、Crew・Solook(音響・照明)、(株)街装社(会場設営)、(株)藤本工業(除雪)、(株)レントオール福知山										
事業概要 (箇条書き)	成人式の開催 令和4年1月9日(日)開催 三段池公園総合体育館 出席者:637人 内容 関係課や保健所との調整・指導をうけながら、昨年度よりも感染拡大防止対策を強化し運営。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、式典参加者は一定の間隔をとった全席指定席とし、受付通路なども一方通行となるコーンとコーンバーを配置。 保護者などの参観希望者と一般来賓の人数を限定し式典を行った。 福知山高等学校放送部、府立工業高等学校吹奏楽部、福知山市合唱連盟、高校生ボランティアへは依頼はせず運営を行った。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	報償費	27	手話通訳謝礼								
	需用費	203	手提げ袋、消耗品(布額テープ、マーカー他)、メッセージ集・式次第作成用色上質紙、燃料代								
	役務費	97	看板書換料、郵送料								
	委託料	761	会場設営業務、音響・舞台照明業務、駐車場警備業務、動画編集・放映業務、パイプtent及び暖房器具等搬入設置業務								
	使用料及び賃借料	213	三段池体育館使用料								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	884	861	1,204	1,983				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	884	861	1,204	1,983					
予算財源内訳	① 一般財源	884	861	1,204	1,983				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	192	440						
	② 配当予算	1,076	1,301						
	③ 執行額	1,076	1,301						
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.81 / 0.05	0.83 / 0.02	0.83 / 0.02	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	6,605	6,690	6,690	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	7,681	7,991	6,690	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	出席者の割合	%	84 / 100	76 / 100	79 / 100	/ 100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	成人式開催	回	1 / 1	1 / 1	1 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト		885.9	1076.0	1301.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>成人式は、成人としての自覚をもち大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする新成人を祝い、励ますことを目的に行われている。新成人自らが自立し大人社会へ仲間入りすることを自覚するとともに、同年代の仲間が一堂に集まり、再開を楽しむ場となるよう今後も式典を実施することは必要である。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> コスト的に活動内容にあった運営となっている。 高校生ボランティアの募集、アトラクションも近隣高校に協力いただくなどコスト削減に努めている。 近年の記念品の持ち帰り状況や近隣市の実施状況を考慮して、平成29年度から記念品を廃止している。新成人には、当時の小学校・中学校・高校の先生などからメッセージを募り、メッセージ集を作成・配布した。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 関係課や保健所との調整・指導を受けながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をとり、成人式を開催することができた。 式典参加者は一定の間隔をとった全席指定席とし、成人式会場内外が密にならないようレーンを区切って一方通行とした。また、保護者などの参観希望者と来賓者の人数を限定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を強化し、多くの方に式典に参加していただくことができた。 あらたに、式典のライブ配信を行い、入場できない人も式典を観覧できるようにした。 例年、工業高等学校吹奏楽部、福知山高等学校放送部、運営補助の高校生ボランティアの協力を得ていたが、今年度は依頼をしなかった。事前に市内6高等学校吹奏楽部の演奏映像の提供を依頼し、オープニング映像として随時放映した。形を変えて、学生の参画の場とすることが保障できた。 出席率については、対象の7割以上の出席者があり、概ね目標は達成できたと考える。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年度から対象者、関係者の増加に伴って三段池公園総合体育館で実施している。大きなトラブルもなく多くの対象者の参加を得て開催できたことは評価できる。 今後も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとっての式典になると考えられるため、引き続き関係課との連携を密にしていく必要がある。 令和4年4月1日から、成人年齢が18歳に引下げられるが、福知山市としては対象者は20歳とし、式典時期についても現行どおり1月の成人の日の前日に実施する。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 継続的に事業実施を進め、対象者にとって充実した式典となるよう内容の見直しを検討していきたい。 市在住、出身、在勤の20歳が一同に介する機会であるので、若者の意識、考え方の聴取や市政PR等の場として活用されることを提案していく必要がある。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>新成人には、成人としての自覚を持ってもらうため、お祝いしがきを送付。式典については、20歳を対象とし、実施する。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	地域で支える「地域未来塾」開講事業				事業コード	630210					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実					
	施策名	1 地域総ぐるみの教育の場づくりの推進			施策コード	411					
事業担当	所属	60030000 教育委員会 生涯学習課			所属長	浅田 久子					
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	228	頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていない中学生に、教員OBや大学生など地域住民の協力による学習の場を提供し、学習習慣の確立と基礎学力の定着、義務教育終了時に必要な学力、高等学校等進学後に必要な学力の獲得を支援する。										
対象者	学習習慣を十分に身につけさせたい中学校3年生の生徒				対象者数	630		単位あたりコスト	14.3		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	令和3年度実績 市内9ブロック、全市内市立中学校で実施 実施期間：9月中旬から2月下旬(週2回、各1時間) 主な実施教科：英語、数学 開講日数：209日 受講生徒数：105人 学習支援員数：延べ88人										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	報償費	4,277	コーディネーター・学習支援員謝礼								
	旅費	14	コーディネーター研修旅費								
	需用費	710	消耗品費(インク、ホワイトボード、非接触式温度計、飛沫防止用パーテーション他)、教材代 他								
	役務費	101	コーディネーター・支援員傷害保険料								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	6,463	6,094	6,040	5,983			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①～③)	6,463	6,094	6,040	5,983				
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	3,000	2,840	2,810	2,512			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	3,463	3,254	3,230	3,471			
決算情報	① 流充用額	△ 180	0					
	② 配当予算	6,283	6,094					
	③ 執行額	6,029	5,102					
	④ 執行率	96.0%	83.7%					
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.63 / 0.00	0.49 / 0.00	0.49 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	5,040	3,920	3,920	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	11,069	9,022	3,920	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域で支える「地域未来塾」開講事業	種類	教育費府補助金	実績金額	3,238	30	頁
		地域で支える「地域未来塾」開講事業基金繰入		基金繰入金		1,800	40	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	出席率	%	88 / 100	80.6 / 100	85.2 / 100	/ 100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	開校数	校	9 / 9	9 / 9	9 / 9	/ 9	9
	単位あたりコスト		663.6	669.9	566.9		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身についたりしていない中学生は、全国的にも大きな問題となっており、その中学生に対し、学習支援を行う必要性は高い。 令和3年度は延べ105人の生徒が受講し、延べ88人の学習支援員が支援を行った。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 補助(国・府)制度の活用。学習支援員は、地域の方のボランティアで実施している。また、計画的に事業を進めるため、地域支援コーディネーターを中心に実施している。 地域の方々が学習支援などに協力いただいたことで、学校以外の学習の場を設け、受講生徒の学習習慣が身に付くよう支援ができた。また、学習の場だけでなく、地域の方々との心地よいやりとりの場や、安心して自分の思いを話せる居場所を提供することができた。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の出席率も高く、閉講前のアンケート等においても家庭学習の時間が増えたという意見が聞かれた。(アンケート結果抜粋:未来塾参加前と比べて、全体の88%の生徒が勉強する時間が増えたと回答した。未来塾参加前と比べて、全体の75%の生徒が1日30分以上勉強している日が増えたと回答した。) 学習指導員として参加する地域の方々からもやりがいを感じるという意見を得ている。このことから事務事業として高く評価できる。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度に桃映地域をモデル事業として実施し、平成28年度には2地域(成和・六人部)を追加して3地域に、平成29年度はさらに2地域(南陵・日新)が加わって5地域に、平成30年度からは未実施であった4地域(川口、三和、大江、夜久野)を加え、市内全地域9地域にて実施。 令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言(9月)や市内での感染拡大(1・2月)により、全体の開講日数は前年対比50日減となったものの、前年度より感染対策をより強化し、学校・公民館・学習支援員の協力を得て、全ての学校が未来塾を開講し、1年間事業を推進することができたことは評価できる。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ●2年以上お世話になっている学習支援員が9割以上となっており、今一度、地域未来塾の主旨を再確認し、事業の安定した継続が必要である。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------